

かわさきコロナ情報(動画特設ページ)

#28 令和2年8月25日 ~新型コロナウイルス感染症の行政検査について~

8月25日火曜日、かわさきコロナ情報をお伝えします。

まずは定例的に行っております感染状況をお伝えしてまいります。

本日発表の新規の陽性患者数は11名となっております。累積で1,027名ということになりました。

直近3週間を見てまいります。

先週の新規の陽性者数は126名ということで、その前週122名を若干上回っているような状況です。一方、市内医療機関における入院中の患者数でありますけれども、60名から53名ということで少し減っている状況にあります。

10万人当たりの新規陽性者数ということでありますが、前の前の週から比べて8.24人ということで、少し増えている状況にあります。

週あたりの陽性者増加率ということでありますが、国の基準にあります1を少し上回ってしまいました。こういう状況になります。

感染経路不明者の割合ですけれども、先週も48%ということで、その前の週とほぼ変わらず、約半分の方が経路が不明という状況が続いております。直近1週間の陽性率ということでは、6.6%ということで、7.3%から少し減っているという状況にあります。

さて、こちらにお示しているグラフは、初めて皆様にお伝えするものになります。これまでモニタリングのときは、検査日に検査して今日は何人陽性になりましたということの日付のところを人数として落としてまいりましたけれども、このグラフは、発症日が何日だったかということプロットしたのになります。こう見ますと、1つ目の山、第1波という表現が正しいかどうか分かりませんが、1つ目の山は4月8日あたりが一つのピークになっているということがこれでわかると思います。2つ目の山ですが、これは8月の3日が1番ピークになっていて、少し減少傾向だということがこのグラフでお分かりいただけると思います。どういふふうにやっているかということ、陽性が検査で確定した段階で、保健所の職員がおひとりおひとりにあたって、いつ症状が発症しましたかとひとつひとつ聞き取りながら、これを書き込んでいっているということですので、若干1週間ぐらいのタイムラグがあります。なので、ここから少し足されると誤差が出てきますが、この発症日別で見た方が、流行の増減がより正確に捉えられると言われておまして、そういった意味では8月3日からを境に少し下がってきているのかなというのが読みとれると思います。是非参照していただければと思います。

それでは、毎週のことでありますけれども、市の健康安全研究所の岡部所長から先週についてのモニタリング・評価がありますので、そのまま読みあげさせていただきたいと思います。

新規陽性者数は126人と、前週と比べますと4人増となっておりますが、前々週と比較すると減少傾向にあり、全体的には先週あたりから増加傾向が止まり、停滞しているような状況です。東京都及び関東首都圏、関西方面、沖縄なども増加傾向が留まり、若干減少傾向が見

えてきていますが、本市はそれを追いかけているような状況です。入院中の患者さんの中には、重症な方もおられます。できるだけ感染の広がりを少なくして、1人でも重症になる方を少なくするよう、御協力をお願いいたします。これまでのところ、一般の方の感染の多くは、空気の流れの悪い、狭いところで大人数が一緒になって大声で話をしたり、歌ったり、接触したりという、三密の状態が生じています。できるだけこのような状況を避けることは、感染するリスク、感染を広げるリスクを下げることになるので、これらの注意をしながら日常生活を過ごしていただければと思います。

このような評価でございました。やはり三密ということはずっと言われていることでありますが、この防止をいかに徹底できるかというのがキーになっていることには変わりません。是非皆さんの御協力を引き続きよろしくをお願いいたします。

続きまして、先週もお伝えしましたけれども、検査体制のことについて、さらにお伝えしていきたいと思います。PCR等の行政検査についてお伝えしてまいります。

まず、どういったところで、検体を採取しているかということでありまして、2月からは市指定の医療機関で採取をしておりました。それ以降、5月の連休期間後から、集団検査所を市の医師会の御協力もいただいて市内3か所で採取をしておりました。それから、市が進めておりますのは、この病院と、それから市内の診療所、こういったところでも検査ができるような体制を今拡充しつつあります。現在は9つの病院、そして33の診療所というところで検査が受けられるようになっております。必要な検査を必要な人が受けられるような、そういう体制づくりを徐々に拡充していっているという状況に今あります。

この検体の採取件数でありますけれども、4月のときには(1か月あたり)2,287ということでありましたけれども、7月には既に(1か月あたり)7,000件を超える検体を採取しています。どこで採っていたかということ、総数の大体2,300のうち、ほとんどがこの医療機関、市の指定している帰国者・接触者外来及び医療機関でやっておりましたけれども、7月になりますと、大方変化はありませんけれども、それに加えて、PCRの集合検査所が300件台を超えてやっておりますし、またこの454という「その他」であります。例えば、学校ですとか、保育所だとか、施設とかでクラスターが発生した時に、保健所の職員がその場に出向いて行って検査をする、こういったところをその他に挙げておりますが、こういったところも増えているということでございます。

検体を採取して、検査所に持って行って確定させるわけでありまして、どこでやっているかということなんですが、4月の段階で、2,287のところはほとんどが市の健康安全研究所で検査を行っていました。それが、7月になりますと、これブルーのところは市の健康安全研究所で、緑のところは民間検査所になります。7,000件のうちの4,400件はもう既に民間検査所で確定をさせておまして、この4,000件の内訳の中で約3,000がPCR検査、そして最近では抗原検査も増えておりますので、こういったものを組み合わせながら全体の検査実施件数も増えているということでございます。

市の健康安全研究所もまさにPCR検査の検査をやっているところでありまして、こ

のように感染防止対策を十分に行った上で、作業を行っております。平日土日問わず、ずっとこういった体制で行っております。

このPCR検査の機械、今、市の健康安全研究所では4台を用意しております、7月で一番多かった検体数は、7月21日にあった221検体を1日でやっています。

まだ若干の余力がありますし、日によってかなりばらつきがありますがけれども、順次検査体制を拡充しているということでもありますので、引き続き、この検査体制の充実に努めてまいりたいと思います。

今日は以上です。